

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	野生鳥獣感染症対策事業費		担当部局庁	自然環境局		作成責任者	室長 秀田智彦				
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度～		担当課室	鳥獣保護業務室							
会計区分	一般会計		政策・施策名	5.生物多様性の保全と自然との共生の推進 5-3 野生生物の保護管理							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計画、 通知等	—							
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	高病原性鳥インフルエンザ等の野生鳥獣由来の感染症は、人畜への感染によって社会経済及びヒトの健康に著しい支障を及ぼすおそれがあるだけでなく、野生鳥獣間で蔓延した場合には、特に希少種の絶滅など我が国の生物多様性保全上大きな影響を及ぼす可能性がある。このため、パンデミックの未然防止に向けた危機管理として、本事業は、高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況に関するモニタリング、近隣諸国の情報収集、渡り鳥の飛来状況調査等により、安全・安心の確保に資することを目的とする。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>上記について以下の通り実施。</p> <p>①渡り鳥に送信機を装着し、人工衛星で追跡すること等により、飛来経路を解明(鳥インフルエンザ侵入ルートの予測)</p> <p>②鳥インフルエンザウイルス等の病原体をわが国に持ち込む媒体となる可能性のある渡り鳥等のモニタリングを実施し、当該情報を関係省庁や都道府県と共有(糞便及び死亡野鳥調査による病原体の早期検出)</p> <p>③近隣諸国の鳥インフルエンザに係る情報を収集(近隣発生国における状況の把握)</p> <p>④全国の主な渡り鳥の飛来地において渡り鳥等の飛来状況(種、数等)の調査(月3回、概ね8箇月間)を行い、データをとりまとめ環境省のHPIにおいて提供(防鳥ネット設置時期の目安の提供)</p>										
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他										
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度		23年度		24年度		25年度		26年度要求	
		当初予算	80	98	76	70	70				
		補正予算	0	0	0	0					
		繰越し等	0	0	0	0					
	計	80	98	76	70					70	
	執行額	160	115	89							
執行率(%)	200%	117%	117%								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)			
	鳥インフルエンザ等、野生鳥獣が感染・伝播する感染症について、国内侵入及び影響の監視、モニタリングを行うとともに、情報収集や知見の集約等を進めることで、国民の安全・安心の確保に寄与することが事業内容であり、あらかじめ定量的な成果目標を設定して行うことは困難である。			成果実績	-	-	-	-	-		
			達成度	%	-	-	-	-			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込			
	鳥インフルエンザ等、野生鳥獣が感染・伝播する感染症について、国内侵入及び影響の監視、モニタリングを行うとともに、情報収集や知見の集約等を進めることで、国民の安全・安心の確保に寄与することが事業内容であり、定量的な活動指標を示すことは困難である。			活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-	-		
							(-)	(-)			
単位当たりコスト	-			算出根拠	-						
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由							
	職員旅費	0.5	0.5								
	環境保全調査費	69.3	69.5								
	計	70	70								

事業所管部局による点検							
項目			評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	高病原性鳥インフルエンザに関しては、野生鳥獣への影響のみならず、ヒトや家畜への影響も懸念されており、広く国民のニーズがある事業である。渡り鳥が伝播する可能性が高く、国レベルでの広域の対応が必要となる。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○				
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○				
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	契約については可能な限り競争性のある契約方法を採用している。経費は、鳥インフルエンザウイルスの検出等のための検査・調査機材の購入費などの感染症対策を実施するために不可欠な用途に充てられている。			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-				
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○				
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-					
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	鳥インフルエンザウイルスの渡り鳥等におけるモニタリングは、「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」を整備し、検査対象種の優先順位化(リスク種の設定)などを図り、効率的な調査・検査に努めている。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○				
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	鳥インフルエンザに関しては、国の事業としては、野鳥の対応は環境省で、家きんでの対応は農林水産省で、ヒトでの対応は厚生労働省で実施しており、情報の共有、連携に努めている。			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名				
点検結果	渡り鳥による高病原性鳥インフルエンザウイルスの国内侵入及びその影響を監視するとともに、情報収集や知見の集約を推進することで、生物多様性の保全、国民の安全・安心な生活の確保、鳥インフルエンザの防疫対策等の実施へ寄与するものであり、今後実施体制のさらなる効率化を図りつつ、モニタリング・検査及び各種調査を実施する。						
外部有識者の所見							
行政事業レビュー推進チームの所見							
現状通り	引き続き効率的な執行に努めること。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
現状通り	引き続き効率的な執行に努める。						
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年	193	平成23年	184	平成24年	193		

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

環境省
89百万円

業務の企画・指導監督

【請負：参加確認型公募】

A.慶応義塾大学
34.5百万円

渡り鳥の飛来経路の解明調査

【請負：一般競争】

B.(独)国立環境研究所
38百万円

高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況検査

【請負：一般競争】

C.(財)自然環境研究センター
9.9百万円

野生鳥獣の感染症に係る情報収集及び対応方針等検討・調査

【請負：一般競争】

D.(NPO)バードリサーチ
6.8百万円

渡り鳥等の飛来状況情報収集・提供

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.慶応義塾大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究員等	5.7			
消耗品費	衛星送信機等	10			
雑役務費	アルゴシステム使用等	7			
賃金	現地調査	2			
諸謝金	現地調査協力	1.5			
旅費	現地調査	0.8			
借料損料	レンタカー等	0.5			
印刷製本費	報告書	0.2			
その他		0.2			
一般管理費		5			
消費税		1.6			
計		34.5	計		0
B.(独)国立環境研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究員等	17			
消耗品費	検査資材等	12			
通信運搬費	輸送容器返送代	0.7			
機器保守費	機器保守費等	0.8			
共通経費		0.6			
一般管理費		4.7			
消費税		1.8			
その他		0.4			
計		38	計		0
C.(財)自然環境研究センター			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	研究員等	6.5			
旅費	専門家海外調査旅費等	0.8			
諸謝金	会合諸謝金	1			
一般管理費		1			
消費税		0.5			
その他	賃金、印刷費	0.1			
計		9.9	計		0
D.(NPO)バードリサーチ			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	打合せ、現地調査、データ入力等	1.8			
諸謝金	現地調査協力謝金等	4.0			
その他	印刷製本費、通信運搬費、一般管理費、消費税等	1			
計		6.8	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	慶應義塾大学	渡り鳥の飛来経路の解明調査	34.5	参加確認型公募	98%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況検査	38	1	97%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	野生鳥獣の感染症に係る情報収集及び対応方針等検討・調査	9.9	1	99%

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(NPO)バードリサーチ	渡り鳥等の飛来状況情報収集・提供	6.8	2	76%